

単元の指導と評価の計画案

対象学年	小学校 第6学年 38名		
単元(題材)名	「森へ」(全9時間)		
単元の目標	<p>優れた情景描写や説明を読み、筆者の心の動きに寄り添って、未知の自然の物語を味わうことができる。</p> <p>「森へ」の学習を通して興味を持った分野の本を読み、その特徴などを話して友達に紹介し合い、読書の世界を広げることができる。</p>		
学習 活具 動体 にの お評 け価 る規 準	ア 関心・意欲・態度	イ 読むこと	ウ 言語事項
	<p>「森へ」を読んで、登場する動植物や情景に興味をもち、楽しく読んでいる。</p> <p>グループでの話し合いや、読書発表会を通して、仲間と伝え合う学習に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>表現の工夫に着目し、筆者が表そうとしている世界を想像豊かに読み取ろうとしている。</p> <p>本教材に関わって自分の興味関心を広げるために読書しようとしている。</p>	<p>それぞれの場面で使われている語句や事物の意味を調べようとしている。</p> <p>擬人化や比喻表現、問いかけ表現など文章表現に興味を持ちその意味を理解している。</p>
単元 の 指 導 と 評 価 の 構 造	<p>1時 全文を読み、傍線を引いたり、感想を書いたりして興味関心を高め、学習への見通しを持つ。 評価基準ア- 評価方法：教科書(傍線) ノート(感想文)</p>		
	<p>2時 興味を持った場面についての語句や事物の意味を調べることによって、筆者が表そうとした場面の様子を詳しく理解することができる。 評価基準イ- ウ- 評価方法：ノート・図書資料の利用</p>		
	<p>3時 調べてわかったことや思ったことを、グループの仲間と話し合うことにより、新しい発見をしたり、場面の様子についてお互いの感じ方を交流したりすることができる。 評価基準ア- イ- 評価方法：メモ・発言</p>		
	<p>4時 1場面(朝の海) 2場面(ザトウクジラとハクトウワシ)を読み、擬人化や比喻表現、問いかけ表現などの表現の工夫に着目することによって、その効果や筆者の感動を読み取ることができる 評価基準イ- エ- 評価方法：ノート・発言・振り返りカード</p>		

5時・6時

3場面（森の中へ）を読み、前時で学習した表現の工夫を見つけ、その効果を話し合うことによって、森の中へと足を踏み入れるときの筆者の感動を読み取ることができる。

評価基準イ- ア-

評価方法：ノート・発言・振り返りカード

7時（本時）

4場面（森の川）を読み、表現の工夫を見つけ、その効果を話し合うことによって、森の川での筆者の感動を読み取ることができる。また、「サケが森を作る」ということわざの意味を話し合うことによって、自分の考えを深めることができる。

評価基準イ- ア-

評価方法：ノート・発言・振り返りカード

8時

5場面（巨木の物語）を読み、表現の工夫を見つけて話し合うことによって、筆者の森に対する考え方を理解することができる。

評価基準イ- ア-

評価方法：ノート・発言・振り返りカード

9時

「森へ」を読んで読んで興味を持ったことや考えたことを元にして、好きな本を選び、読むことができる。

評価基準イ-

評価方法：発言・図書

10時

読んだ本のあらすじや見所、自分が感じたことは何かを明確にすることによって、読書発表会に向けての本の紹介文を書くことができる。

評価基準イ-

評価方法：ワークシート

11時

選んだ本をグループの仲間と紹介し合うことによって、さらにいるんな本を読み、自分の興味関心を広げていきたいという気持ちを持つことができる。

評価基準ア- イ-

評価方法：メモ・発言・振り返りカード